

地産地消に取り組む 大工・工務店

有限会社岩木建設

○岩崎様邸 ○加賀様邸

有限会社キーポイントホーム

○田中様邸 ○工藤様邸

有限会社久保工務店

○風張様邸

企業組合県木住

○畑井様邸 ○薪ストーブ

有限会社大坊建設

○櫻井様邸 ○ニンニク畑で感謝祭

株式会社ミヨシプラス

○K様邸



「料理教室」が岩木建設との出会い

「土台にはヒバ、床や柱や梁にはスギ、玄関の上がり框にはクリと適材適所に県産材が使用された」——岩崎様邸。竣工した昨年の2020年度第13回あおもり産木造住宅コンテストに、(有)岩木建設が『木の色が優しいコンパクトな家』の作品名で応募し、「丈夫で長持ち」を目標して県産材を多用した点が評価され、審査員特別賞を受賞した。岩崎様と岩木建設との出会いは、「料理教室」がきっかけ。友だちに誘われた教室の会場が、住宅展示場であった。教室に通うにつれ展示場の「木の空間」に惹かれ、築40年の自宅の建て替えを決めるに至ったその道のりを紹介する。

ユーザー訪問

岩崎 様邸

DATA

おいらせ町住吉 2020年5月竣工

■延べ床面積/23.90坪(約79.08㎡)

■使用青森県産材/ヒバ(土台)、スギ(床、柱、梁)、クリ(玄関の柱、上がり框)。

足元の冷や冷やがない 光熱費の安さに驚き!

建て替えて何よりも良かったのは、「寒さから解放されたことです」と奥様は話す。「これを張ってくれたおかげです」と、厚さ3cmのスギの床を指さした。住宅コンテストで「冬季も素足で過ごせる健康で快適な住環境づくりに努めている」ことも評価されて審査員特別

賞を受賞したのだった。

キッチンと、対面するカウンタ―付きのダイニングの雰囲気がかフェ風だ。その脇に据えられた、掃き出し窓から陽が入るリビングのソファに座り、岩崎様が話を続ける。

「今はもう足元が冷や冷やすることはなくなりましたが、以前の家はとにかく寒くてね、風呂の水が凍ったんですよ。でも、その家で30年以上も暮らして





掃き出し窓から陽が入る明るいリビング

いましたから、冬は寒いものだと思いますんでいて、銭湯に通っていましたよ」

——お友だちに「料理教室」に誘われたところから、建て替えに向けて「動き出した」わけですね。

岩崎様の話（そうなんです、と笑いながら）高校の同級生で、彼女が通っている「料理教室」に一緒に行ってみない？ と誘われたんです。それが始まりでした。行ってみたら、岩木建設の住宅展示場（長期優良住宅展示場『いわ木の家』）でし

た。まさか展示場で料理教室が開かれているとは想っていませんでした。ベジタリアンの料理教室の場として開放していました。その時点では、また家については何も考えていなかったんですが、料理教室に通っているうちに、変化が起きてきました。展示場を見るのが楽しみになったり、木のいい匂いがあるし、どっしりとした板敷きの足元はまったく冷や冷やしなしいし、柱も太いし、階段の板も分厚いし頑丈そうだし、いいなあと眺めて、わが家に帰って



“カフェ風”な雰囲気のカウンター付きのダイニング



右端に見える階段の電動式の高所用窓を開けると、心地よい風がリビングを吹き抜ける

くると、床は薄いビニールのクッションフロアだし、暗いし寒いし、そのギャップがだんだんと大きくなってきてね……。

岩木社長の話 展示場を、地域の交流の場としても利用してもらいたいという考えは、展示場を建てた時点からありました。見学者で賑わうのはオープンしてから3年くらいでしょうし、あとは徐々に減るものだから、せつかく暖房の薪ストーブもあるし、水道もトイレも使

える展示場を、絵画の展示とか、料理教室とかに活用してほしいと思っていたところ、料理を教えている先生とご縁があり、引き受けてくれることになったのです。

展示場が完成したのが2010年で、その翌年から料理教室が始まりましたから、もう11年になります。ここ1、2年は新型コロナウイルスの影響で開催する間隔があいていますが、徐々に元に戻るでしょう。当社の「いわ木の家ブログ」で開催の内容をそのつど紹介して、次の開催日もお知らせしています。これまでかなり多くの方々に参加しました。料理を習いながら、ご家庭での食事のことや、子育てのことなども話し合える交流の場になっているようです。よ。女性の集う館です。

叔母も岩木建設で改築 縁でつながる安心感

岩崎様の話 八戸で完成見学会がある、と岩木さん(岩木勝

志社長)から聞いたのは料理教室のときでした。行ってみました。展示場並みに立派な家で圧倒されましたけど、わたしには大きすぎました。その次に拝見した、七戸町の平屋の家は、わが家と同じくらいのコンパクトな家で、身近に感じられました。以前の家のローンはすでに完済しているし、子供たちも社会に出たし、わたしはまだ現役で働いているから、ローンを組もうと思えば組めます。本気になってきたんです。でも、リフォームするか、建て替えるかはまだ決められませんでした。リフォームした家を拝見したばかりだったからです。リフォームでも新築みたいになるんだと思つてね……。実はその家は、わたしの叔母の家で、しかも工事したのは岩木建設だったんです。

—— 十和田市の母良田様邸
 (『青森県産材の家』No.Xに掲載)ですか。

岩崎様の話 そうです。わたし

の実家へ行く通り道に建っているんですよ。通るたびに家の形が変わって、完成した時には新しい家が変わっていました。新築同然です。「料理教室」がきっかけで出会った岩木建設が、叔母の家とつながり、料理教室に誘ってくれた友だちも趣味のクラフト製作の工房と車庫を岩木建設で建てたし、つながっていますよね。縁があるんです。一度家を見てもらおうと、岩木さんに声をかけました。



断熱性が高いコンパクトな設計が光熱費の安さをもたらせる

岩木社長の話 冬に凍るのは

風呂の水だけでなく、洗面化粧台も透き間から浸み込んだ水が凍って「洗面台が持ち上がる」と聞いていましたから、地面の水道配管が凍結して浮いているのかもしれないと思っていました。訪ねてみると、境界のブロック塀が斜めに倒れそうになっていて、やはりこれは地盤に問題があつて、庭に溜まった雨水が引かず、それで水道配管も凍るのでしよう。リフォームして建物の断熱性は改善できても、地盤の問題を解決しなければ暮らしの快適さは得られません。となると、建て替えになります。

地盤の改良に、敷地内の2ヶ所に浸透柵しとうますを埋めて雨水を処理することになりました。口径が10cmほどの穴あきのパイプを地面の下に何本か這わせ、その先を敷地のコーナーに埋めた浸透柵につなぎました。雨水がパイプを通って柵に流れ込み、地下に浸透するしくみです。こ

れで水はけは改善されました。また、階段の吹き抜け部分に取り付けた電動式の高所用窓を開閉することで、夏のこもった熱気を排出し、快適に過ごせます。

岩崎様の話 暮らしして1年半になりますけど、驚いたのは光熱費の安さです。以前なら冬は灯油、ガス、電気代合せてひと月3万円ほどだったのが、1万2千円で済んだんです。オール電化だから灯油とガス代はかかりません。今までの半分以下です。浮いた分をローンに回せ

ます。岩木さんが「暮らしの快適さはランニングコストの安さ」と強調されていたけど、ほんとうにそうですね。実感です。重宝しているのは屋根裏の物置です。岩木さんが、収納に使えばいいと提案してくれたんです。このスペースがなければ物が部屋にあふれるところでした。それと、お気に入り階段の手摺りです。スギの格子を立ててくれました。明るくて、やわらかな色合いが素敵です。見ると気持ちやわらぐんですよ。

ベジタリアン料理教室

今回のメニューは、スコッチエッグ、マリネ、他です。アガーで作った抹茶ゼリーがデザートにつきました。

参加申し込み

岩木建設 TEL.0176-27-2906



(「いわ木の家」のブログ]2021年7月16日より)

いわ木の家

有限会社 岩木建設

十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL.0176-27-2906 FAX.0176-27-3259
E-mail:iwaki@sea.plala.or.jp

